

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立殿馬場中学校
校長 丸井理恵

中学校区におけるめざす子ども像
自分で考え、自分で判断し、新たなことに挑戦できる力を持った子ども

令和7年度 重点目標
『子ども中心の授業』『子どもがつくる行事』を柱とし、あらゆる教育活動において主体性の伸長をめざす

「確かな学び」の現状
学力プロフィールの分析結果より、知識・技能の学力はある一定高い結果を得ているが、見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けて総合的に考える力に課題があることがわかった。さらに、一昨年度より、チャレンジテストにおいては、大阪府の平均以下の結果となるなど新たな課題も出てきている。
あらゆる教育活動において主体性の伸長をめざすとともに、学力向上を図ることが喫緊の課題である。

「豊かな心・健やかな体」の現状
・中庭に「殿馬場の森」があり池では鯉や金魚を育て、草花もたくさん植わっており四季の花々が咲き、生徒たちも世話をしている。その環境の中で生徒たちがつながり、人間関係を深め、生徒の「豊かな心」の育成につながっている。
・主体的に問題解決をすることが得意でないなど課題もある。特に、いじめ問題については積極的に取り組む必要がある。
・学校は堺東という街中に位置し、茶の湯体験等、伝統文化に触れる機会が身近にあるが、自由に走り回ることができる環境が少なく、運動習慣が定着していない生徒や運動が嫌いな生徒も多い。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、授業改善を進める。	●月1回の授業改善のための教員研修を実施し、生徒の学びを深められるように授業を改善する。	「授業はよくわかる」と回答する生徒の割合が経年比で昨年より	アンケート	年度末	◎ 計画通り実施している。教員相互に手法を共有し、授業が改善されている。	◎ 授業改善のための教員研修を実施し全教員が公開授業を行う等、充分に取り組めた。8割の生徒が授業はわかりやすいと回答している。	○ 学習環境などや生徒の学習に対する意識は高いように思います。子どもが楽しく学べる、わかりやすい授業をお願いします。
			●教員が自ら学ぶ姿勢を持ち積極的に研修に取り組む	研修に対する肯定的な意識の向上	アンケート	年度末	○ 研修会を行うことにより、重点目標実現に向けた進捗の確認を全員で確認している。	△ 研修に対する教員の満足度は半数であり、さらに満足度の向上を目指し内容の検討をする。	○ 「子どもは授業がわかりやすいと言っている」 50%
	学力の向上	子どもたちが主体的に学ぶ授業の実現を図る。	●★生徒が自ら学ぶ姿勢を大切に、基礎基本の定着および思考力・学力向上を図る。	学力調査における平均正答率が経年比で昨年より	調査結果	年度末	○ 生徒が授業に落ち着いて取り組んでおり少しづつ学力が定着してきている。	○ 各種調査結果から読むことや書くことに課題があることがわかった。引き続き学力向上に取り組む。	○ 様々なデータを分析して対策をし、学力の向上をお願いします。PCをうまく使って授業をお願いします。
			ユニバーサルデザインやICTの効果的な活用などを進め、学ぶ環境づくりを推進する。	「先生は効果的にICTを活用した授業をしている」と回答する生徒の割合が経年比で昨年より	アンケート	年度末	○ 授業でICTを積極的に活用している。	○ 生徒アンケート結果から、7割以上の生徒がICTを効果的に活用した授業が行われていると回答している。	○ 「学校は子どもの学力向上にとりくんでいる」68%
豊かな心・健やかな体	こころの教育	人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人間性を育成する	●いじめ発見につながる生徒へのアンケートの実施および教員間で情報共有を密にし生徒理解を深め、いじめの未然防止・早期発見・早期解決を図る。	学期ごとのアンケートで「いじめはいけない」と回答する生徒の割合の向上	アンケート	毎学期	○ 生徒指導主事を中心に組織的に対応するとともに、生徒の様子について情報交換を密に行っている。	○ 道徳や生徒の自尊感情の醸成について学校アンケートから十分達成できたと考えられる。	○ いじめ問題や非行防止については、引き続ききめ細やかな対応をお願いします。子どもたちが楽しく学校に通えるようにお願いします。
			校内研修や道徳授業等を通じて、教員の対応力を高めるとともに生徒への啓発の強化を行う	「学校へ行くのは楽しい」と回答する生徒の割合が経年比で昨年より	アンケート	年度末	○ 定期的に校内研修・研究討議等を行い、実践に結び付けている。	○ 85%の生徒が学校へ行くのは楽しいと回答している。にげん学習交流会や居住地交流会を再開することができた。	○ 「子どもは学校へ行くのが楽しいと言っている」 76%
	自尊感情の実践	学習や部活動などを通じて、生徒自身が成長を自覚し、自尊感情が向上する取り組みの実践	生徒が自らの将来について展望をもって進路選択が出来るようにする。	「将来の夢や希望を持っている」と回答する生徒の割合が経年比で昨年より	アンケート	年度末	○ 計画的に進路指導を実施している。	○ 全学年対象に進路説明会を実施した。2年生を中心にすべての学年でキャリア教育を実施した。	○ 進路のことについては早めに子どもたちにも教えてください。部活動については教育的な意義についても配慮をお願いします。
			年間計画に基づき、計画的・継続的に道徳教育を推進する。	全学級が「未来をひらく」を20時間以上活用して授業を実施	実施状況	毎学期	○ 指導計画に基づいて教材をもとに授業を実践している。	○ 全学級が「未来をひらく」を20時間以上活用して授業を実施した。	
地域協働	信頼される地域協働の学校	地域の思いや保護者の思いを理解し、信頼される教職員として教育活動を推進する。	○オープンスクールの実施や、学校ホームページ・学校だより等を通じて情報発信を積極的に行うことで、保護者に学校の状況を知らせる。	アンケートで「学校での様子がよくわかる」と回答する割合が経年比で昨年より	アンケート	年度末	○ HPやTetoruで情報発信を行っている。	○ HPやtetoruと紙配布の文書を使い分け、情報が確実に届くようにした。学校群について組織体制ができ、全体会を年3回、各部会でも複数回の会合を持ち取組を推進することができた。	○ ・8割の保護者が「学校の様子がよくわかる」と回答している。 ・ホームページはいつも拝見させていただいています。 「学校は保護者や地域の願いに応えている」67%
			●★学校群として小学校とも連携を行いながら、地域とともに歩む学校づくりを推進する。	地域の行事への参加回数や小学校との交流回数等	実施状況	年度末	◎ 小学校とともに組織づくりを進めている。		

校長より (年度末)
日頃より本校教育の推進にご支援ご協力ありがとうございます。生徒・保護者をはじめ協議員の皆様から暖かい励ましをいただいています。今年度の課題を整理し、生徒にとってより良い学校づくりに努力していきます。

学校関係者評価
子どもは学校が楽しいと言っています。
子どもにとってより学びやすい学校づくりに引き続きよろしくをお願いします。